



僧侶でアナウンサーでもある川村さんの講演

11/30(日) 菊池市健康づくり大会

泗水ホールで健康づくり大会が開催され、約 350 人の参加がありました。この大会は、市民の健康についての関心を深め、意識の向上を図ることを目的に、菊池市健康づくり推進協議会が主催し毎年開催されているものです。

ホールでは、菊池北中学校の思春期教室の取り組み、加茂川保育園タンポポくらぶの食育の取り組みの活動発表の後、「ここをみつめる」と題して、僧侶でアナウンサーでもある川村妙慶さんの講演がありました。熱心にメモを取る参加者もあり、「とても心に残る話でした」などの声が聞かれました。

ホワイエでは、生活習慣病予防コーナー・食生活コーナー・歯科コーナーの展示や、健診・相談などが行われ、参加者は自分の生活を振り返る 1 日となりました。

11/30(日) 第19回「菊池川の日」スペシャル植樹祭

菊池市ほか8市町で構成する菊池川流域同盟による、河川の浄化と環境保全を目的とした「菊池川の日」事業が展開されました。今年度は設立 20 年目を記念して、大津町真木にある「環境の森」で植樹祭を開催しました。

植樹祭には約 200 人が参加し、ヤマモミジやヤマザクラなどの広葉樹の苗木約 1,400 本が植樹されました。また、当日のオープニングイベントでは、水援隊として長年にわたり河川の監視に務められた皆さんや河川の浄化に功績のあった団体への表彰がありました。菊池市からの表彰者は次のとおりです。(敬称略)

個人の部

- ・15年以上表彰 山口 弘(菊池)、林 中(菊池)
- ・10年以上表彰 古閑 剛(七城)、東 爵(泗水)
- ・5年以上表彰 前田 一(七城)、澤山秀信(旭志)、東 範治(旭志)、内野幸照(泗水)、角田一信(泗水)

団体の部

- ・泗水きれいな水と命を守る会推進連絡協議会(山下臣子会長[泗水])



記念植樹をする福村市長(右)

11/30(日) 第3回菊池市子ども会大会

菊池市子ども会大会が、七城町のリバーサイドパークで行われました。菊池市子ども会育成協議会の主催で行われたもので、竹巻きパン作りと木工体験に約 40 人の子ども会員と保護者が参加しました。

パンを作ったことがある子どもも、竹に巻いてパンを焼くのは初めての体験のようで、みんな楽しそうに焼いていました。できあがったパンはその場で食べたり、「家に持って帰ってお母さんやお父さんに食べさせる」と家に持ち帰ったりする子もいました。



木工体験では、持ち慣れない金づちを手に、友だちや家族と協力し合いながら、イスを完成させました。2つを体験した子どもたちは、寒い中でしたがとても楽しそうに取り組んでいました。

楽しそうにパンを焼く参加者(上)と自分たちで作ったイスに腰掛ける木工教室の参加者(左)

11/24(祝) 青木未央さんが第50回全国書道展で最高賞を受賞



文部科学大臣賞を受賞した青木さん

泗水中学校3年生の青木未央さんが、大東文化大学が主催する全国書道展中学生の部で、最高賞にあたる文部科学大臣賞を受賞しました。大学主催の書道展としては全国最大規模を誇るもので、書道の普及と、書技の向上を目的として同大学が毎年開催しており、全国から 20,000 点を越える応募がありました。授賞式は東京都であり、青木さんには賞状とトロフィーが贈られました。

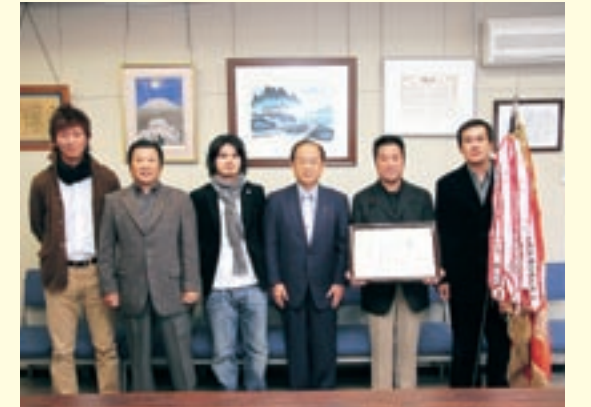
6歳ごろから書道を始め、現在も毎週 1 回は書道塾に通って腕を磨いているという青木さんは「6回目の応募ですが、ずっと取りこぼした賞なのでとてもうれしいです。高校生になったら今までとは違う書体にも挑戦していきたいと思います」と受賞の喜びを話してくれました。今後の活躍が期待されます。

11/25(火) 龍門クラブが第53回県会長旗軟式野球県大会での優勝を報告

龍門クラブ(中山敬吾監督)が、県会長旗軟式野球県大会(熊本県軟式野球連盟主催)で優勝し、その報告に福村市長を訪れました。大会には県内の地区予選を勝ち抜いた 16 チームが出場し、10月18日(土)・19日(日)・25日(土)の3日間、トーナメント方式により山鹿市民球場で行われました。

決勝戦では、強豪、河浦クラブとの対戦となり、初めに龍門クラブが1点を先取るも5回に2点を挙げられ逆転されます。しかし、最終回の7回裏でランナー1・2塁からのライトオーバーヒットで2人がかえり、逆転サヨナラで優勝を決めました。

中山監督は「昨年は決勝戦で敗れ悔しい思いをしましたが、優勝できてうれしいです。来年はチーム結成 50 周年という節目の年になるので、今後もチーム一丸となって頑張ります」と喜びを話されました。



優勝の報告に訪れた龍門クラブのメンバー

11/29(土) 七水木(なみき)温泉郷が親子で竹シェード作り体験

菊池市と植木町で家族湯を営む代表者でつくる七水木温泉郷(吉岡宏倫会長)が、泗水町の河川公園で竹シェード作り体験を行い、親子 20 組が参加しました。同グループが企画し、今回初めて行ったもので、参加者は竹に模様の下絵を書いた紙を貼り付け、電気ドリルで穴を開け、思い思いの作品を親子で協力しながら制作しました。

七水木温泉郷は「家族湯がこれだけ密集した地域にあるのは珍しい。地域で集客をしていこう」と、菊池市にある、七城の森・月ノホテル・亀の甲温泉・とよみずの湯と、植木町にある、湯〜庵・はなみずきの代表者でつくるグループで、平成 20 年 8 月に発足しました。それぞれの温泉施設や熊本市内の観光施設にパンフレットを置くなどして PR 活動を続けています。

吉岡会長は「地域全体でお客さんをお呼び込みたいと活動しています。今後は地下資源を使って商売している恩返しに、清掃活動などのボランティア作業を行いたいです」と話されました。



竹シェード作りに挑戦する親子